

研究者情報

氏名	狩野 奈緒子
役職	桜の聖母短期大学 生活科学科 教授
所属	桜の聖母短期大学 生活科学科 福祉こども専攻 こども保育コース
最終学歴	宮城教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻専修 修了
学位	教育学修士（宮城教育大学 2001年3月）
専門分野	障害児教育 保護者相談支援
所属学会	日本保育学会 日本LD学会 日本保育者養成教育学会
主要担当科目	特別支援保育 保育内容（言葉）の指導法 こどもと言葉 こどもと人間関係 保育内容（人間関係）の指導法 子どもの理解と援助 保育相談実践演習
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害を持つ子どもや保護者の関係支援、子育て支援広場における親子関係支援と学生の体験的な学修の方法と体系化についてなど ・ 学生の「子育て支援力」育成のための、対話的学修の検討 ・ 特別支援を要する子どもと保護者支援に関する事例研究 ・ 保育現場、学校現場と保護者支援に関しての連携に関して ・ コロナ禍での親子遊び場の意義の再考

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
論文	1. 子育て支援広場における保護者相互の関係支援に関する一考察ー特別な支援を要する子どもの保護者の語りから考える支援ニーズの分析ー	桜の聖母短期大学紀要 第50号	令和8年3月
	2. 子育て支援広場における「インクルーシブな保育」の実現ー子ども・学生・保護者で作る子ども主体のあそびの環境ー	桜の聖母短期大学紀要 第49号	令和7年3月
	3. 保育者養成課程初年次学生の子ども理解に関する語りの深化	桜の聖母短期大学紀要 第48号	令和6年3月

	<p>—子育て支援広場参加観察振り返りの対話に関する一考察—</p> <p>4. 保育者養成校で行う地域子育て支援者育成の再考—桜の聖母短期大学「親と子のひろば」の機能の変遷を経て—</p> <p>2. 「さくらっこ」の輝きを保育者養成に～子育て支援広場を学生とつくる～</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症拡大下における親子遊び場の意義を再考する—短期大学子育て支援広場参画の保護者視点を通して—</p> <p>4. 特別支援を要するA児の「学びの物語」を紡ぐ—ドキュメンテーションを活用した対話から保護者の視点をつなぐ—</p> <p>5. 特別支援を要するA児の就学移行支援—子育て支援広場のコーディネート機能の検証と課題—</p> <p>6. 学生が抱く父親への子育て支援観の変容—子育て支援広場での学生の気づきに注目して—</p> <p>7. 悪性腫瘍治療後の病气療養児A児の親子関係支援—多様な子どもの育ちを支える子育て支援広場の事例—</p> <p>8. 保育実践を基にした子育て支援力の育成—子育て支援広場での学生と保護者のかか</p>	<p>桜の聖母短期大学紀要 第 47 号</p> <p>福島の進路⑥2022 J UN NO. 478</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 46 号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 45 号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 44 号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 44 号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 43 号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第 43 号</p>	<p>令和 5 年 3 月</p> <p>令和 4 年 6 月</p> <p>令和 4 年 3 月</p> <p>令和 3 年 3 月</p> <p>令和 2 年 3 月</p> <p>令和 2 年 3 月</p> <p>平成 31 年 3 月</p> <p>平成 31 年 3 月</p>
--	--	---	---

	<p>わりから—</p> <p>9. 特別支援を要する児の幼児期から学齢期への移行支援—子育て支援広場の事例から幼小接続期の保護者エンパワーメントを考える—</p> <p>10. 保育参加観察を通して保育内容に対話的に学ぶ—エピソード記述とドキュメンテーションの活用—</p> <p>11. 子ども理解を基盤とした「保育観」「子ども観」の再構築—援助から保育の計画を描くための学び—</p> <p>12. 子育て支援広場における学生の「子育て支援力」育成の試み—「親子クッキング」を活用したアクティブラーニング—</p> <p>13. 桜の聖母短期大学「親と子の広場」における親子関係支援 第4報—発達課題に向き合う保護者を地域で支えるために—</p> <p>14. 東日本大震災後の子育て支援広場での育ち合い—実践と対話の中で学び続ける保育者養成を目指して—</p> <p>15. 保育参加観察を活用した実習指導の体系化—1年次「保育基礎演習」から始まる学び—</p> <p>16. 桜の聖母短期大学「親と子の広場」における親子関係支援 第3報—「かかわりの</p>	<p>桜の聖母短期大学紀要 第42号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第42号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第42号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第41号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第40号</p> <p>『子育て支援と心理臨床』Vol.11 福村出版</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第39号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第39号</p>	<p>平成30年3月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成29年3月</p> <p>平成28年3月</p> <p>平成28年2月</p> <p>平成27年3月</p> <p>平成27年3月</p>
--	--	---	---

	<p>難しさ」と「育てにくさ」を支援する試み—</p> <p>17. 桜の聖母短期大学「親と子の広場」の推移と現況～「子育て支援センター」設立に向けての課題と展望～</p> <p>18. エピソード記録を活用したグループワーク - 実習事後指導の中での対話の重なり -</p> <p>19. 子育て支援広場における「保育相談実践演習」の取り組み - 学生の参加観察後のカンファレンスの活用 -</p> <p>20. 桜の聖母短期大学「親と子の広場」における親子関係支援 第2報 - 学生とともに望ましい発達支援を探る -</p> <p>21. 実習事後指導のグループワークの取り組みにおける一考察 - OST を活用して -</p> <p>22. 子ども理解を深める実習記録改訂 - 実習事前指導における活用法の検討 -</p> <p>23. 桜の聖母短期大学「親と子の広場」における親子関係支援第1報 - 東日本大震災後の親子関係支援を通しての一考察 -</p>	<p>人間学研究所所報 Vol.20</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第38号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第38号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第37号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第37号</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第37号</p> <p>桜の聖母短期大学 紀要36号</p>	<p>平成27年3月</p> <p>平成26年3月</p> <p>平成26年3月</p> <p>平成25年3月</p> <p>平成25年3月</p> <p>平成25年3月</p> <p>平成24年3月</p>
--	--	---	--

主な社会貢献活動

社会貢献活動	活動年月日
令和7年度福島県社会福祉協議会ボランティア推進委員会（委員長）	令和8年3月

2025年度こども緊急サポートふくしま新規スタッフ養成研修会	令和8年8月
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第13回教員研修大会 分科会講師・ポスター発表審査委員長	令和7年8月
福島市私立幼稚園・認定こども園連合会 第12回教員研修大会 分科会講師・ポスター発表審査委員長	令和6年8月
令和6年度福島市 保育士現職研修会 講師	令和7年2月13日
令和4年度福島市 子育て支援者研修会 講師	令和5年2月4日
令和4年度北海道・東北ブロック保育協議会次世代リーダー研修会・保育士会リーダーセミナー 講師 ：養成教育から考える「協働」構築の試み	令和5年1月13日
福島県私立幼稚園・認定こども園 第10回教員研修大会 第5分科会助言者	令和4年8月
福島県社会福祉協議会福祉研修事業運営委員会委員	令和4年7月～現在
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第9回教員研修大会 第2分科会助言者	令和3年8月
公立社団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 令和2年度・免許状更新講習講師	令和2年12月20日
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第7回研修大会第1分科会（新任他）助言者	令和1年8月
福島県私立幼稚園・認定こども園連合第6回研修大会 第1分科会（新任・2年目）助言者	平成30年8月
福島市 子育て支援員研修 講師	平成30年2月
福島県社会福祉協議会ボランティア推進委員会委員長	平成29年4月～現在
福島市待機児童解消推進委員会委員	平成29年12月～令和3年11月
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 キンダーコーディネーター養成講座講師	平成28年12月
本宮市 NPO 法人いどばた会 ファミリーサポーター養成講座講師	平成26年 2月 ～現在

特別研究

テーマ/概要	こどもとことば /子どもの言葉の発達を支えるかかわりやその課題について、実習場面や
--------	--

	<p>「親と子の広場」「さくらっこ広場」特別支援学校「大宮ろう学園幼稚部」での参加観察などの実践を通して、テーマを設定し研究する</p>
<p>特別研究内容</p>	<p>実践場面やかかわりの体験の中で、エピソード記述を行い、特別研究メンバーとのカンファレンスを行いながら、教員がスーパーバイズを行う。メンバー同士のエピソードについて考え合う中で、エピソードから考えられる主題を絞り込む形式をとっている。</p> <p>テーマとしては実習で出会った、障害を持つ子ども(診断がつかない疑いの子どもを含めて)の事例を取り上げ、保育の経過の中での成長の様子や、保育者の関わりについての観察事例報告、また保育の中で児の困り感に対しての配慮の工夫などへの言及などが考えられる。</p> <p>また、言葉を育む保育環境の工夫、特に人的環境としての保育者の関わりや子どもの言葉を含めて個性的な表現の意味について取り上げる場合も多い。</p> <p>「親と子の広場」「さくらっこ広場」においては、個別の事例報告をはじめ、保育者や学生と親子の育ちあいなどの相互関係を参加観察の中で体験的に学び考察してきている。</p>